



**健康福祉局災害援護課
事務・男性職員
(平成31年度入庁)**

①はじめに～自己紹介

入庁まで

★出身：宮城県仙台市

H29.3：大学院卒業

H29.4：民間のエネルギー会社に就職（東京勤務）

H31.4：仙台市入庁（大学卒程度・事務）

入庁後の異動歴（現在入庁3年目）

◇ H31.4～

健康福祉局災害援護資金課

主に東日本大震災の被災者の方に対する貸付金の
債権管理

②志望動機

なぜ公務員？

- ・ 営利目的だけでない、社会全体の福祉のために働きたいと思った。

なぜ仙台市役所？

- ・ 生まれ育った地元に貢献したい。
- ・ 転居を伴う転勤がないので人生設計が立てやすい。

③私の経験談を紹介！～入庁後に担当してきた業務
健康福祉局災害援護資金課

市民とのお金の貸借の管理

- ◆東日本大震災の際に生活の立て直しを目的に仙台市から被災者の方へ貸付を行った
- ◆返済期間は13年（据置期間6年・償還期間7年）
⇒平成29年度頃より返済が本格化
- ◆適切な債権管理を行うとともに、返済が困難な方の相談に乗り、相手に状況に応じた適切な制度をご案内

④仕事のやりがい

- ・ 民間企業では手を伸ばすことができない部分のサービスを市民の方々へ提供**する**ことができる。
- ・ 自身の業務が市民の生活に直結していることを実感できることが多い。
- ・ 様々な業務を経験できる。
意欲があれば挑戦させてくれる環境があると思う。
所属の2年間だけでも窓口対応から予算管理、法令改正まで幅広い業務を経験することができた。異動先も多岐にわたる。